

研究課題名 倫理委員会承認番号	急性期脳梗塞の EVT 再開通例における治療前 BAT 延長と臨床予後の関連 202606
当院の研究責任者(所属)	西浦菜々(放射線部)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	ASLにおけるBATの延長を側副血行路の発達指標と捉え、再開通が得られた急性期脳梗塞患者における治療前BAT延長の有無が、患者の臨床予後にどのように影響するかを統計的に明らかにし、治療適応や予後予測におけるBATの有用性を検討することを目的とする。
調査データの該当期間	2025 年 3 月～2026 年 4 月
研究の方法 (対象となる方)	当院で急性期脳梗塞と診断され EVT を施行した患者
研究の方法 (使用する情報)	治療前に撮影したMultiASLおよび電子カルテの診療情報を後方視的に収集して検討を行う。
資料・情報の他機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	個人を特定できる形とせず、セキュリティーのある環境下で厳重に管理する
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	翠清会梶川病院 放射線部 西浦 菜々
備考	